

【会議録】

会 議 名	第1回港区放課G0→クラブこうなん運営事業候補者選考委員会
開 催 日 時	令和4年8月1日（月）
開 催 場 所	Microsoft Teams会議
委 員	<出席者> 6名 田中委員長、長谷川副委員長、秋山委員、宮地委員、白井委員、船木委員 <欠席者> なし
事 務 局	芝浦港南地区総合支所管理課長、施設運営担当
会 議 次 第	1 開会 2 委員委嘱 3 委員の紹介 4 委員長選出 5 議題審議 議題1 選考スケジュール（案）について 議題2 公募要項（案）について 議題3 審査方法・審査基準について 6 その他 7 閉会
配 付 資 料	資料1 港区放課G0→クラブこうなん運営事業候補者選考委員会設置要綱 資料2 港区放課G0→クラブこうなん運営事業候補者選考委員会委員名簿 資料3 港区放課G0→クラブこうなん運営事業候補者選考スケジュール（案） 資料4 港区放課G0→クラブこうなん運営事業候補者募集要項（案） 資料5 選考の進め方（審査フロー図） 資料6 審査方法について（案） 資料7 第一次審査採点基準表（案） 資料7-2 第二次審査採点基準表（案）
会議の結果及び主要な発言	
	1 開会 （事務局より開会の挨拶） （事務局より配付資料の確認）

- 2 委員委嘱
(委嘱状は郵送にて交付)
- 3 委員の紹介
(各委員より自己紹介)
- 4 委員長選出
互選により田中委員を委員長に選任。
「港区放課GO→クラブこうなん運営事業候補者選考委員会設置要綱」に基づき、芝浦港南地区総合支所長を副委員長に選任。

5 議題審議

議題1 選考スケジュール(案)について
(事務局より資料3について説明)

委員長

ご質問、ご意見等ございますか。

(承諾)

議題2 公募要項(案)について

議題3 審査方法・審査基準について

(議題2、議題3は一括審議)

(事務局から資料4から資料7-2について説明)

委員長

ご質問、ご意見等ございますか。

A委員

募集要項9ページ(6)、提出書類はすべて片面印刷ですが、両面印刷1枚使用可としてもよいのではないのでしょうか。

委員長

委員と事務局から意見をお願いします。

事務局

事務局から指定はありません。委員の皆様にてこの場で決定をお願いします。

B委員

文字が増えれば増えるほど中身が散漫になることがあるため、私は(片面)1枚で詳細に範囲の中で書いてもらうことが良いと思います。

C委員

内容が濃い項目のボリュームを制限すると、結局どの事業者も似たような提案となり評価のポイントが分かりづらくなる傾向があると思います。項目によりませんが、詳細に書き込んでもらわなければ何を行おうとしているのか、

	どこに力を入れようとしているのかが分からないことがあります。
B委員	副委員長と委員長の発言から、1枚で裏面利用可としてはいかがですか。
委員長	B委員の発言通り、必須ではなく、両面1ページ裏面の使用可とし、表記の仕方を事務局に任せます。
事務局	承知しました。
委員長	審査項目以外にご意見等ありますか。
A委員	別紙2の3(2)、プレゼンテーションが15分で質疑が20分ですが、今回委員が6人いるため20分では足りない気がします。トータルの時間が35分であれば、プレゼンテーションは10分で質疑は25分が良いと思います。
D委員	プレゼンテーションよりもヒアリングに時間を割いた方が良くと思うため、賛成です。
	(承諾)
A委員	出席者の上限の人数を決めた方が良くと思います。記載がどこかにありますか。
事務局	現在人数に関する記載はありません。 本部の人は必須です。施設長候補者も必須です。場合によって現場から、例えば副施設長の候補者が来ることもあるため、4名でいかがでしょうか。
B委員	4名で問題ないですが、4名マストか4名までなのかどちらでしょうか。
A委員	4名以内はいかがでしょうか。
	(承諾)
C委員	選考基準のプレゼンテーションの記載ですが、施設長候補者は必ず出席と書いてありますが、プレゼンテーションを施設長候補者が行う記載がないため、選考基準に明示した方がよいと思います。
委員長	施設長候補者にプレゼンテーションは必須であることの明記をお願いします。
事務局	募集要項に記載します。

A委員	<p>プレゼンテーションの方法はプロジェクター、パソコンは用いず、口頭だけにしますか。或いはプレゼンテーションの時に資料を使う場合は、提案書とは別にA3用紙1枚表面のみのプレゼンテーション用の資料を提出するようにしますか。</p>
B委員	<p>今回は第一次審査の結果から第二次審査まで短いため、プレゼンテーション用資料はマストではなく、必要な場合はA3用紙1枚の資料を作成して配布可能とするのはいかがでしょうか。</p>
委員長	<p>マストではなく必要であれば既に提案書を出しているため、念頭に置きながら審査もできます。A3用紙1枚の資料は提出したいところは出すと最初から伝えていけば、公平性が保たれると思います。マストではなく「プレゼンテーションの際に資料を提出することが可能です」として「A3用紙1枚の表面のみ」と表記が出来ればと思います。プレゼンテーションの際にプロジェクター等を使用しないことはよろしいですか。</p> <p>(承諾)</p>
事務局	<p>委員長からの発言2点を追記します。</p>
B委員	<p>別紙2の2ページ4(1)、事業内容について障害のある児童の受け入れについて、利用者の人権のところに「多様性への配慮」の項目があると良いと思います。配慮ということをお願いできればと思います。</p>
C委員	<p>B委員の発言は最もだと思います。LGBTQは、あくまでもパーソナリティであり障害ではないため(8)で括弧書きの中に今は「いじめや虐待」と書いてありますが、ここに具体的にLGBTQについて加えれば良いと思います。いかがでしょうか。</p> <p>(承諾)</p>
委員長	<p>第一次審査表、第二次審査表について意見はありますか。</p>
B委員	<p>提案ですが第一次審査表IのI、これは実績としてあるものの評価のため事務局採点で統一の基準を出して採点することはいかがでしょうか。それぞれの専門性から判断した方が良いという意見もあるかもしれないため、どちらでも良いですが私は同一基準で客観的に示した方が良いと思いました。一方で専門性の問題もあると思いますので、どちらかで検討いただければと思います。</p>

C委員	同じ学童でも、例えば都市部と都市部ではないところでは差異があります。児童館は行っている、学童と併用していないケースも見受けられるかと思えますので、一律の基準を設けることは難しいと思います。やはり各委員の採点が良いと思います。
B委員	例えば同一審査者が3、4社の審査をする時に同一基準で付ければ公平のため、同一基準が他の委員と異なることもあり得ると思います。本当にフラットに行うことも一つの方法と思い提案したため、委員採点でも構いません。
委員長	B委員の意見は今後の参考として承ります。今回は事務局提案の委員採点で行います。ご意見はございますか。 (承諾)
E委員	多言語・文化対応について、どこかに加えることが必要だと感じました。
委員長	E委員の発言は採点基準表第一次審査の4です。
C委員	(8)に人権と中黒で併記する形で「多様性」の言葉を加えればLGBTQも含めて文化や習慣の相違による子供への対応、それからパーソナリティの部分への対応も包含されると思いますし、かつ両面で記載される情報のボリュームをそれなりに稼げるため、ここですべて包含できると思います。
D委員	賛成です。項目を変えなければ無理があると感じたため、中黒案と多様性や多様な家庭に配慮するようなものが必要だと思いました。(8)に加えることが一番妥当だと思いました。
委員長	よろしいですか。 (承諾)
委員長	他にご意見ございますか。
B委員	ひとり親家庭については明記されていませんが、そこは事業者が考えるということでしょうか。ひとり親家庭の児童への対応はいかがでしょうか。
委員長	ひとり親家庭について明記して、どのように対応をするのか提案書に書いてもらうか、或いは記載せずとも提案書の中に書かれていることで、そこまで目を配っているのか。

B委員	今どきの業者は必ず行事等も配慮していると思います。こちらで評価の中で各人が必要に応じて行うということによろしいですか。
委員長	明示せず、今回項目を設けなくても事業者が提案書に書いているかどうか、 或いはプレゼンテーションで質問をしてもいいと思います。 (承諾)
委員長	他に意見はありますか。 (委員一同、異議なし)
委員長	公募要項、第一次審査表、第二次審査表を一部修正の上、決定します。 6 その他 ・事務局から今後のスケジュールについて説明 7 閉会

会 議 名	第2回港区放課 GO→クラブこうなん運営事業候補者選考委員会
開 催 日 時	令和4年10月11日(火)
開 催 場 所	Microsoft Teams会議
委 員 員	<出席者> 6名 田中委員長、長谷川副委員長、秋山委員、宮地委員、白井委員、船木委員 <欠席者> なし
事 務 局	芝浦港南地区総合支所管理課長、施設運営担当
会 議 次 第	1 開会 2 議題審議 議題1 第一次審査通過者の決定について 議題2 第二次審査について ① 二次審査表について ② 追加資料要望の有無について 3 今後のスケジュールについて 4 閉会
配 付 資 料	資料1 第一次審査(書類選考)結果集計表 資料2 第二次審査表 資料3 第二次審査(プレゼンテーション・ヒアリング)方法について 資料4 港区放課 GO→クラブこうなん運営事業候補者選考基準 資料5 第1回港区放課GO→クラブこうなん運営事業候補者選考委員会会議録
会議の結果及び主要な発言	
委員長	<p>1 開 会</p> <p>2 議題審議 議題1 第一次審査通過者の決定について ・事務局から第一次審査集計結果について説明 (事業者A 908点、事業者B 850点、事業者C 712点)</p> <p>それでは、第一次審査について審議します。各委員から講評をお願いします。</p>

D委員

全体的に低い点数となり、少し厳しめに採点した結果となりましたが、事業者Aと事業者Bにはそこまで大きな差はなく、事業者Cについては厳しい点数となりました。理由としましては、事業者Cは、これまでの運営実績はあるということで、問題なく運営していただけると想像はするんですが、書類だけの採点となったときに、事業者A、事業者Bと比べて不足が目立ちました。学習指導などに力を入れているのは秀でている部分と評価できましたが、他の項目においては取組みの提案の具体性が感じられなかったもので、そういった面で差をつけました。

事業者Aですが、求められている項目についてはしっかりと説明されていました。特に周辺施設、地域についてはよく調べられており、具体的な提案がされていると思いました。人権については、基本理念の中で触れられている点は感心しましたが、4（8）人権の項目においては、性的マイノリティ・いじめについてもう少し触れてほしかったという印象で、人権以外の他の項目が充実していたこともあり不足を感じて減点したのですが、人権そのものの考え方についてや、多様性の具体例について触れられていたので、のちほど2ではなく3に訂正したいと思います。

事業者Bですが、求められている項目についてはほぼ示されていますが、事業者Aと比べて地域性を捉えた提案が若干乏しいと感じました。また、職員の健康状態、労働環境の安全配慮について、取組みが積極的ではなく、本部としては受け身で、何かあれば対応するという待ちの姿勢を感じました。そうなる前にフォローする体制が提案から感じられなかったため、減点しています。

事業者Cについては、皆様の評価のコメントを拝見し、いくつかの項目で評価を上げたいと思っています。まず、1（1）運営実績ですが、港区の実績がゼロであり、いろんな地域の経験がないということで2にしたのですが、実績の数としては多いので、2を3にのちほど修正させていただきたいと思っています。

3（3）施設の衛生管理の部分ですが、2を付けましたが、事故予防として、ヒヤリハット事案の報告・共有について書かれていなかったこと、報告で止まっており、活かしているのかが分からず不安を感じました。また、職員自身のコロナ対策について触れられていなかったもので、2のままとさせていただきます。4（2）ですが、計画を読んでみまして、具体的なことは書かれておりませんが、方針については書かれているので、2を3にのちほど変更させていただきたいと思っています。4（5）ですが、こちらはクレームのとらえ方が一方的であったという点と、クレームをサービスの向上の取組に活かしているのかについて、不足していたので疑問に思っておりましたが、提案書を見直しまして、2を3に修正したいと思います。4（7）障害のある児童への配慮については、他の委員の方のコメントで全員が対応できる体制があるというのは、確かに評価できると思いましたので、のちほど2を3に修正させていただきます。以上です。

B委員

全体的に申しますと、事業者A、事業者Bはどちらにお任せしても問題ないで

あろうという内容になっていると思いました。事業者Cについては、具体性に乏しく、実際に運営をお任せできるのか、書類上ですが疑問に思いました。事業者Aは書類が非常によく書けており、また、地域のことをよく調べていると思いました。一方、事業者Bは、記述に関しては事業者Aより不足しているとは思いましたが、安心感がある印象を受けました。ですので、事業者Aと事業者Bで、あとは責任者がどうかというところになってくるとは思いますけれども、事業者Aの責任者が、実績がまだないということで不安を感じました。次に個別の項目についてですが、事業者Aの4（8）人権・多様性に配慮の項目は、4をつけている方もおりますので、私の採点が非常に離れたものではないと考えております。記述内容を見れば5に値するのではないかと思います。事業者Bにも同じ5をつけておりまして、事業者Aも5のままとさせていただきます。

事業者Cについて、2（2）責任者・職員の配置につきましては、2を3に修正させていただきたいと思っております。2（3）勤務体制については、全体的に分かりにくく、総括責任者が社員又は契約社員という表記となっていること、配置人数が少なく感じたこと、契約社員やパートの表記が不明確であり、問題に感じて2とさせていただきます。また、事業者Cは賃金が安すぎるのではないかともし思いました。お任せするに当たって、施設職員がきちんとした待遇をもって安心して働けるというのは原則ですので、そういった面でも事業者Cにお任せするのは今回は難しいのではないかとというのが私の見立てでございます。

以上です。

C委員

私の講評ですが、他の委員の皆様もおっしゃっているとおり、事業者Cについては他事業者と比べて、全体的に提案内容が劣るという評価をしております。事業者Cに関しましては、提案内容が全体的に具体性に欠けるという点と、放課 G0→クラブこうなんの施設の条件や地域性を踏まえておらず、一般論での提案に終始しているという印象で、厳しいと感じました。

事業者Aと事業者Bですが、今回、提案書類がA4で両面可としているにも関わらず、事業者Bはすべて片面で提案されており、記述としてはしっかりしているとは思いますが、少し具体性に欠け、より細かい提案のあった事業者Aの方が全体的に高い評価とさせていただきます。

事業者Cは施設条件や地域性について欠けると申しましたが、事業者A、事業者Bに関しましては、その点はしっかりと提案されています。

4（8）児童の人権、多様性に配慮した運営についてですが、事業者Aについてははじめに関する記述がなく、事業者Bについては児童の人権に関する記述がしっかりと書かれていないというところで、ただ、他の部分はしっかりと書かれているので評価は低くしてはならないのですが、その2点が気になりました。以上です。

E委員

他の委員の皆様もおっしゃっているとおり、順番としましては、事業者A、事

業者B、そして離れて事業者Cというところでございます。
事業者Aですけれども、方針、考え方は非常によく書かれていたと思います。港南小学校、港南地域のことがよく考えられていました。地域の特徴が提案の中に散りばめられていて、とてもいい提案だと感じました。傾向としまして、どこも同じような提案である印象を受けますが、今回の事業者Aの提案は、地域のことをよく勉強していて、非常に意欲的だと感じました。事業者Bにつきましては、方針や考え方が安定していると捉えました。勤務体制や施設長の経験なども安定感があり、提案の中でも、安全確保について見送りのポイントなども具体的な提案があり、評価できると考えました。事業者Cにつきましては、一か月分のおやつメニューの提案があったり、育成の状況といった記述は評価できると思ったのですが、一般的には実態から少し離れてしまっていて、実現性が低い提案書であると感じました。
以上です。

F 委員

皆様のご意見、そのとおりだなと思いながら聞かせていただきました。私の採点も、事業者A、事業者B、事業者Cという順番となりました。
事業者Aは、地域、学校のことをよく調べて提案しているという点で、一番高く評価いたしました。ただ、先ほど他の委員からご意見があったとおり、施設長の経験不足という点は非常に心配に感じました。
事業者Bに関しましても、学校のことをよく分かっているという提案内容でした。事業者A、事業者B、どちらにお任せしても遜色ないと思いましたが、違いは事業者Aの方はよく地域のことを調べて提案してきているという点でした。
事業者Cは、具体性に欠けおり、地域性を加味していないことが心配な点でした。その点をもっと提案に盛り込んでくれたらよかったなと思います。ただ、入退室のシステムの導入を提案している点はよいと感じました。全体的に一般的なことが書かれているという印象で、本校の放課 GO→にマッチしているかという、一般論的すぎるなという印象でした。
以上です。

A 委員

委員の方のご意見伺いながら、ごもっともだなと思っていたところでございます。私の講評をさせていただきます。提案書を見て、書き方、書きぶり、内容を比較しながら、そのよさで評価をさせていただきました。
事業者Aは、例えば出だしにおいて、自身の運営している保育所との連携といながら、幼小の連携と記述してあることが気になりました。当然ですが港区を非常に意識した提案書となっており、内容はよいと感じました。ただ、一方で、欠員、欠勤の対応は、本社が港区にあるので10分足らずで行ける、すぐフォローできるという書き方でしたが、そうではなく、それをシステム化して、どういうふうに行っていくかの記述が欲しかったなと思いました。施設長候補者は、児童福祉施設での経験が3年以上はありますが、勤務実績としては豊富とはいえないのではないかと思います。また、人材確保の項目で、非常勤に

対して役割に応じた手当の支給とありますが、役割というのがどのようなものなのか疑問に思いました。それから、研修を100種類以上用意しているとありますが、社内にて用意されているのか、職員がそれを消化できているのか疑問に思いました。また、募集要項には地域の危険個所を把握した取組みを明記しましたが、その点が提案書には見られなかったことと、退室時に送り出しだけをすると書いてありますが、募集要項には送り出しの指定場所を決め、そこまで送ると書いてありますので、募集要項をきちんと読んでいけば違った書きぶりになったのではないかと思います。内容としてはいいのですが、先に述べた点について厳しく見たというところで、このような採点とさせていただきます。

事業者Bについては、人材確保という点で、具体的な採用計画、人事異動、配置に関する記述がありませんでした。一方で、募集要項でいう退室時に、具体的なポイントを設けて職員が付き添うというしっかりした記述があり、よいと思いました。プライバシーマーク取得もよいと思った点です。年間の事業計画ですが、これはどの事業者にも言えることなのですが、行事を書いているだけなのですが、港区の事業ですから、その行事をどういうふうに広げていくかの提案が欲しかったと感じました。特に事業者Bは行事のみの記載になっていたのが気になった点でした。児童に関する保育園・幼稚園との情報共有という点も、あまり明記されていないと感じました。

事業者Cについては、委員の皆様から具体性がないというご意見がありました。私もそれを感じました。安全確保のところは、連絡が明記されていませんでした。年間事業計画についても、別の保育計画の提案書を持ってきたような印象を受けました。記述の中で、具体性に欠いてはいますが、募集要項どおりに書いているという評価できる部分もありました。

内容としましては、事業者A、事業者Bがよろしいかと思いましたが、先ほど説明した点がマイナス評価となりました。

以上です。

委員長

ただいまの皆様の講評を受けまして、点数を修正したい方がいらっしゃいましたら、発言をお願いいたします。では、D委員からお願いします。

D委員

事業者Aの4（8）人権の項目について、2を3に変更します。

事業者Cの1（1）運営実績について、2を3に変更します。

3（1）ですが、マニュアルの中で、コロナ、配慮の必要な児童について触れられていなかったこと、地域の危険個所を把握しているかどうか明確ではなかったというところと、活動中に職員同士のネットワークを利用した情報共有と書いてあったのですが、活動中にスマホの確認をするのかという点で、2をつけたのですが、全体的に見て、3に修正したいと思います。

4（2）を2から3に変更します。

4（5）を2から3に変更します。

4（7）障害の項目を2から3に変更します。

B委員	事業者Cの採点ですが、2（2）責任者・職員の配置について、2を3に変更します。
C委員	変更はございません。
E委員	変更はございません。
F委員	変更はございません。
委員長	それでは、点数の修正がありましたので、改めて点数の発表をお願いします。
事務局	事業者Aは910点、事業者Bは850点、事業者Cは723点です。
委員長	ありがとうございます。第一次審査の点数を確定させてよろしいでしょうか。
	（異議なし）
委員長	それでは、第一次審査の通過者について審議してまいります。
事務局	事務局から補足の説明をさせていただきます。事業者Cにつきましては、先ほど723点と申し上げましたが、加点項目を除くと717点でございます。本委員会においては、最低ラインとしての基準点を、加点項目を除いた満点の60%とさせていただいております。今回、事業者Cにつきましては、基準点を超えなかったというところでございます。
委員長	第2回選考委員会では、2事業者程度を通過させるとしておりました。事業者A、事業者Bを第一次審査通過ということでよろしいでしょうか。
	（異議なし）
	議題2 第二次審査について ・事務局から第二次審査について説明
	まずは、第二次審査表について、ご意見はありますでしょうか。
	（異議なし）
委員長	それでは、第二次審査表はこちらで決定いたします。 次に、追加資料の提出の要望はありますでしょうか。

マニュアルなども持ってきていただけますが、ご意見なければ追加資料の提出は求めないということでよろしいでしょうか。

(異議なし)

委員長

その他、第二次審査についてご意見はありますか。

(意見なし)

3 今後のスケジュールについて

4 閉会

会 議 名	第3回港区放課 G0→クラブこうなん運営事業候補者選考委員会
開 催 日 時	令和4年10月18日(火) 午前9時00分から午前11時15分まで
開 催 場 所	芝浦港南地区総合支所103会議室
委 員	出席者 6名 田中委員長、長谷川副委員長、秋山委員、宮地委員、白井委員、船木委員 欠席者 なし
事 務 局	芝浦港南地区総合支所管理課長、施設運営担当
会 議 次 第	1 開会 2 第二次審査 (1) A事業者(プレゼンテーション10分間、質疑応答25分間) (2) B事業者(プレゼンテーション10分間、質疑応答25分間) 3 第二次審査結果及び事業候補者の選定について 4 その他 5 閉会
配 付 資 料	【配付資料】 資料1 第二次審査実施概要 資料2 第二次審査採点基準表(2事業者分) 資料3 第2回選考委員会議事録概要 参考資料 第一次審査集計結果(第一次審査通過事業者のみ抜粋)
会議の結果及び主要な発言	
(発言者)	1 開会 2 第二次審査 (1) A事業者(プレゼンテーション10分間、質疑応答25分間)
委員長	質問をお願いします。
D委員	性的マイノリティについての考えと、具体的な配慮を教えてください。
事業者A(施設長候補者)	様々な家庭の中で、それぞれの個性を持った子供たちが成長しています。個人を大切に、自由に生活できるように寄り添っていきたくと思います。具体的な配慮として男の子はズボン、女の子はスカートという具体的なことも放課G0→ク

	ラブでは話題に挙げることなく、一人一人の個性を生かして自由に生活できるように配慮します。
D委員	施設内全員のヒヤリハットの共有の仕組みと、ヒヤリハットの報告がしやすくなるような工夫について、これまでの経験を踏まえて教えてください。
事業者A（施設長候補者）	職員間のミーティング等においても児童館と学童が併設しているところがあるため、学童、児童館のこともミーティング等で細かに共有しています。また会社でも施設間の中で様々なヒヤリハットの例を挙げて共有し、事前に想定を行い対処していけるようにしています。常に話題に挙げるため、ヒヤリハットの事例等も各職員が隠すこと無く共有しやすい職場環境を努めています。
事業者A	共有する仕組みや工夫として、ヒヤリハットが他の施設で発生していることをタイムリーに共有する必要があるため、全施設が共通のグループホームとメーリングリストを使用し、アクシデントが発生する度に全施設長に共有できる仕組みが社内でIT化を進めています。
D委員	所属している職員全員がリアルタイムで見ることができますか。
事業者A	はい。
B委員	経歴を拝見したところ、施設長、管理職の経験はないようですが、間違いありませんか。
事業者A（施設長候補者）	はい。
B委員	「職員同士のチームワークが大切」とあります。取り組みたい内容と、意気込みを教えてください。また「安らぎの場となるような施設を目指している」とありますが、「安らぎのある場」はどのような場所と取り組みを行いますか。
事業者A（施設長候補者）	研修等で等級に応じたリーダーシップ研修を受講しています。施設長として働く場合は社員の先輩の意見を聞き、本部の先生達の協力の下で、細部まで相談しながら行います。自分自身も子供たちと一緒に成長しながら経験を積みたいと思います。チームワークを大切にして今までの力を合わせて補いながら、やりがいを持っていけたらいいと常に思います。安らぎの場と居場所作りに関しては、こちらが育成するだけでなく、子供たちにも教えてもらいながら、なごやかに、お家で過ごしているように、子供たちと影響し合いながら施設ごと成長する場所になりたいと考えます。
B委員	子供たちと一緒に、ということですが、時には先頭に立ち引っ張っていくという

	ことも必要です。施設長候補者に選出した理由を教えてください。
事業者 A	人に寄り添って運営ができるところが強みです。彼女のマネジメント方法はボトムアップです。人の話をよく聞き、最終的に問題が発生した際は必ずまとめてきます。
F 委員	小学一年生を指導した具体的な事例を教えてください。
事業者 A (施設長候補者)	小学一年生は幼稚園気分が抜けない子供が多くいます。学校で嫌なことがあると学童クラブに入ってきて「ただいま」から鞆を置く、ノートを出すこともできないことなど、そのときの気分によってできなかつたりします。子供達は連絡帳を提出することも大切ですが、玄関で様子がおかしい場合はまずは声掛けを行います。なにかあったと聞くと、怒りながらもなにかあったか教えてくれたりします。その時の子供達の心情をよく聞きます。
F 委員	出欠確認について、子供が放課 G0→に来なかった場合はどのように確認を取りますか。また退室時の見送りはどこまで行いますか。それと子供の個別面接の頻度を教えてください。
事業者 A (施設長候補者)	登室は「ミマモルメ」で学校を出た時間帯が把握できます。現在私共が管理している施設は学校から距離がありますが、帰ってくるまでの時間の 20~30 分以上経過して帰って来なかった場合は学校に連絡します。「ミマモルメ」自体に通っていない場合も学校の先生に連絡して確認を取ります。児童館職員もいるため、途中まで一人の職員がお迎えに行きますが、帰ってしまったことも想定して、マンションの近くや駐車場の周辺も見に行きます。
事業者 A	自治体によってはカードを使用して退室管理を行っている所もありますが、並行してノートを使用する自治体がほとんどです。ヒューマンエラー防止のために当社全社統一の業務マニュアルがあります。例えば下校予定時刻から 30 分経過しても来ない場合は必ず保護者に連絡を入れ、学校と連携を行います。時間や細かいところを明確に決めて社内ルール統一として、安全配慮義務違反が発生しないように学童全体の共通認識として取組みをしています。
事業者 A (施設長候補者)	見送りは子供の自宅で分けて、色別にコースを作成して、職員が帰りにポイントまで一緒に下校して姿が見えなくなるまで確認します。面接頻度は月に 1 回程度を目途にしていますが、なんらかの心配のある子供に対しては、随時、職員と話をする機会を設けています。
F 委員	職員採用において「地域にゆかりのある職員を採用したい」とありますが、「地域にゆかりのある職員」について教えてください。

事業者A	採用は基本的に港区内を中心に採用したいと考えています。緊急時や災害時等を想定しながら、地元の方に協力いただきたいため採用活動を行っています。
F委員	これまで地域の方を採用するにあたり問題はありませんでしたか。
事業者A	多くの媒体を使用しながら採用活動を行っています。人の手当はできています。地元が難しい場合は少しエリアを広げて職員を募集します。
E委員	施設長として学校との連携や協力体制を取るうえで、心がけていることを教えてください。
事業者A（施設長候補者）	先生との信頼関係を大切にしたいと思います。可能であれば、毎朝挨拶に伺う、子供たちの学校での様子等を細かく知りたいです。学童クラブと学校の様子が違う子供も多いため、学童クラブの様子を密に連絡し合いたいと考えます。
E委員	アクシデントが発生した際の本部の動きを教えてください。
事業者A	本部は統括者管理者として、各地からの情報を集約するハブになる役割を持っています。本部の指示で本部職員が急行する形も取っていますが、基本的に各施設が完結する形を理想としています。そのために普段から研修体制を多く設けています。アクシデント発生時も本部の指示がなくても動けるような体制を普段から築き整えています。
C委員	放課G0→クラブは一年生対象ですが、学童は高学年を含みます。高学年を含めた小学生対象の施設運営にどのような視点で望むのか教えてください。
事業者A（施設長候補者）	異学年交流を盛んに行い、高学年は低学年に対してリーダーシップに近いことができるようになって欲しいと考えています。自分の考えや感謝の気持ちを持ち、人の役に立つことを考えられる育成を日々行いたいです。
C委員	子供は年齢が上がるにつれて自分の考えを明確に持ちます。自己主張も生まれますが、時と場合によっては指導が必要な時があります。施設長としての考えをお願いします。
事業者A（施設長候補者）	注意すべきところはきちんと注意すべきであると思っています。人としてやってはいけないことに関しては、厳しく対処していきます。
A委員	非常勤職員のモチベーション維持の向上を目指すために、役割に応じた手当を支給しているとあります。非常勤職員の場合にはどのような役割でその差があるのかを具体的に教えてください。

事業者 A	非常勤職員役割任命については、基より放課 G0→クラブの運営は非常勤職員の割合が非常に多いです。非常勤職員のモチベーションをアップするための仕組みとして、新たに去年度から役割任命の仕組みを作りました。線引きは、日頃から管理監督をしている施設の施設長が非常勤職員の日々に働きに応じた手当を支給できるように選任を依頼しています。リーダーシップをもった非常勤職員、専門性を持った非常勤職員など、いくつかのポイントをクリアできている職員を施設長が推薦をし、本部職員の面接を通った場合、役割任命をします。また年に一度の昇給のタイミングがあります。
A 委員	任命の基準は、本部にて統一のものがあるということでしょうか。
事業者 A	はい。
A 委員	非常勤職員はどのぐらいの割合で、役割任命を受けている人とそうではない人を、どのようなバランスで配置していますか。
事業者 A	基本的に提案書通りを目指しますが、正社員は会社の方針として人事異動が命じられますが、非常勤職員は地域に根差した方が多いため本人の承諾がなければ異動ができません。港区内は他にも複数施設があるため、エリア内で連携をして常勤・非常勤含めて施設長をサポートする立場の職員の層が厚くなるような人員配置を予定しています。
A 委員	研修が 100 種類以上ありますが、自社で 100 講座を設けていますか。
事業者 A	はい。本部で用意する研修は 100 あまりの種類があり、等級別で必ず受けるものと自由選択制で受けられるものがあります。また、現場で施設長が行う具体的な作業に特化した研修もあります。
A 委員	消化はできていますか。
事業者 A	会社としては努力目標ではなく、あくまでも運営の質を担保するものという位置付けであるとともに、個人のキャリアを蓄積させていくもの、伸ばしていくものでもあるということで、マインドセットした上で、業務上必要なものは必ず受けていただいています。また受講状況の確認も施設長の業務のひとつとして行い、対応しております。
A 委員	施設長から見て力不足である職員がいた場合、施設長から職員に対して受講した方が良い研修を指示することができますか。また、その伝え方、研修後のフィードバックやフォローはどのように行いますか。
事業者 A (施設	伝え方としましては、だめなところということではなく、もっとここを伸ばした

長候補者)	方がいよと伝えてまいります。研修は会社の研修だけでなく、都の研修なども勧めています。当社は自分を伸ばすため、足りない部分を補うことに対して意欲的であると考えます。
事業者A	補足で2件あります。一点目、職員の力不足と必要な研修の受講に関しては、入社してすぐに当社はマニュアル教育を徹底して行うように当社統一の七日間研修を構築しています。動画と読み合わせの文献のセットを7日間しっかり行い、当社統一の研修シートを作成して行っています。一人一人の職員が理解しているかも確認テストまで統一のものを準備しており、一か月、二か月、三か月の面談で理解してアクションとして落とし込んでいるかの確認を行っています。二点目ですが、繰り返し施設長から注意、指導をした場合は注意指導書として残します。それでも改善されない場合は本職員が更なる指導を行います。それを超えると厳しい対応が必要になるため、場合によっては、それ以上の対応を本部として行ってまいります。
委員長	時間になりましたので、質疑を終了します。ありがとうございました。 (採点) (2) 事業者B (プレゼンテーション 10 分間、質疑応答 25 分間)
委員長	質問をお願いします。
D委員	港区と中野区にて経験がおありだとのことですが、港区と中野区の違いを教えてください。
事業者B (施設長候補者)	中野区は商店街があって地域のおやつを子供たちに提供しました。地域の祭りにも参加して交流を深めました。港区は公園が多い地域のため、公園の活用や保育園、幼稚園との関わりを大切にしました。
D委員	社内の他施設でのヒヤリハットや事故などの情報の共有はどのようにしていますか。また施設内の情報共有をどのようにしていく予定か、ヒヤリハットの共有方法で重視していることについて教えてください。
事業者B (施設長候補者)	様々なヒヤリハットがあります。毎日終礼等で一人一人に自分が気づいたヒヤリハットを共有して共有ノートに記載をしています。全指導員の回覧済みを必ずチェックを行い、休みの指導員に対しても細かく伝えます。
事業者B	他施設で起きたヒヤリハットや事故等は施設長会議で必ず共有しています。どのように事故防止ができるのかを施設長同士で確認し合い、当日中に職員達にフィ

	ードバックを行います。
B委員	三点質問があります。一点目、運営で最も大切にしていること、心がけていることを教えてください。二点目に現在の自己評価、三点目ですが、今後新しい施設長として取り組む場合の改善点や次に向けた思いを教えてください。
事業者B（施設長候補者）	一点目は、一人一人の小さなコミュニケーションを大切にしています。また、関わりの中からの人との繋がりを大切にしています。二点目ですが、私自身は、このような場でお話することが苦手ですが、様々な機会を通して改善できればと思っています。三点目は、多くの子供たちがいる中で、一人一人とコミュニケーションを取りながら状況の把握、その中で安全に帰宅管理をすること、安全な運営については、課題もあると思っており、職員が連携・協力して安全な運営を行えるように体制を強化したいと考えます。
B委員	子供たちから普段何と呼ばれていますか。
事業者B（施設長候補者）	〇〇（施設長候補者の苗字）先生です。
F委員	施設長経験の中で一番の成果を教えてください。
事業者B（施設長候補者）	チームワークです。子供たち一人一人とのコミュニケーションや、小さな挨拶を大切にしており、同じ目的意識を持って、面談等を通じてコミュニケーションを図りながら、チームワークの強化を重点に置いていました。そのあたりが現在チームワークとして現れていると思います。
F委員	人材確保について、同じ会社の中での異動と書かれていますが、それ以外で、人材をどのように確保していくかについて教えてください。
事業者B	様々な年齢層の職員をバランスよく配置することを考えています。地域に特化した者や、そういった媒体を利用して採用を行っています。弊社の強みは非常勤職員でも志が高い職員はしっかり育成指導し、資格取得など、非常勤職員から正社員登用として職員が定着してくれているため、今後も続けていきます。また職員の離職を防ぐ取り組みにも力を入れているため、引き続きチームワークを大切に、ひとりの職員が長く子供たちを見ていけるように取り組みます。
F委員	離職を防ぐ具体的な方法を教えてください。
事業者B	正社員については、この仕事を一生涯の仕事として考えていけるよう様々な取り組みを行う中で、特に人事考課制度を通じた職員の評価に応じた職種を今後も続けていけるように評価しています。自己申告制度もあり、本社と面談を繰り返し

	ながら、スキルアップを応援します。資格取得制度や福利厚生の充実、女性が多い職場ですので、育児休業をしっかりと取って復帰できるような仕組みを大切にしています。
E委員	今回は小学校内の施設のため、学校との連携協力体制が重要です。施設長として、学校との連絡協力体制を取る上で心がけていることを教えてください。
事業者B（施設長候補者）	学校との連携協力体制はとても重要だと思っております。日々の授業時間の確認や利用予定で入室がない子供に対しても学校とすぐに連携を取って所在の確認や、配慮が必要な子供に関しましても、学校との情報共有をこまめに行いながら一体となって見守ることが重要だと考えています。
E委員	アクシデントが発生した際の本部の動きを教えてください。
事業者B	本部担当者としては、日々、施設の巡回、施設長、職員との面談などを行っています。
事業者B	アクシデントの初動は本部担当者が報告を受けて対応します。緊急性の高いものは、当日中に本部上司に連絡がいくため、本社全体としての対応を行います。日々のアクシデントは怪我等もありますが、職員の欠員に関しては、毎日欠員が生じたらすぐに本部に連絡をして、職員の配置を行い、子供達が安全に見守れるように定数をしっかりと確保できるようにしています。
C委員	港南地域について、どのような印象を持ちますか。
事業者B（施設長候補者）	港南小学校は公園で囲まれており、外遊び会としてのプレイパーク活動の参加、近隣の学童クラブや五色橋学童クラブとの交流、いきいきプラザとの交流等様々なところで交流を行うことによって、保護者の方々にも地域施設を活用できるころまで理解いただければと考えています。
C委員	児童施設との連携もありますが、地域自体の連携という視点について教えてください。
事業者B（施設長候補者）	品川駅で購入したおやつの提供や、自治会や町会との交流・連携を行い、地域に根差した地域のいち施設として、連携してまいりたいと考えます。
C委員	子供たちの育ちを支える施設のため保護者との連携も大事です。施設長として、どのようなスタンスで保護者と接しますか。
事業者B（施設長候補者）	お迎えの際、お電話の際、連絡帳等小さなツールを通して一つ一つ小さなコミュニケーションを大切にしながら、信頼関係の構築を図りたいと思います。日々見

C委員	<p>童のことで起こった出来事や、出来たことを交えながら伝えることを大切にしています。また個人面談や保護者会等を通して児童の活動様子をお伝えしたり、ご理解とご協力いただく機会を設けていければと思っています。</p> <p>場合によっては保護者からクレームもあります。保護者とのトラブル発生時の対応について教えてください。</p>
事業者B（施設長候補者）	<p>傾聴することを大切にしています。保護者の発言内容を丁寧に聞き取り、気持ちを汲み取ることを大切にしています。場合によっては指導員2名体制で面談を行い、解決に至るまで丁寧に対応を行います。</p>
A委員	<p>成功した経験や失敗した経験を踏まえ、今後、施設長を担う場合に、どのように生かすのかを教えてください。</p>
事業者B（施設長候補者）	<p>子供と接するにはチームワークが大切です。以前勤めていた施設は大規模施設であったため、職員がたくさんおり、足並みを揃えることが大変だと感じていた部分があり、挨拶やコミュニケーションを一つ一つ大切にしながら徐々に信頼関係を作っていき、打ち合わせや面談を通してチームを作ったことが成功であったと思うことです。一方で、様々な勤務形態、年齢層の職員がいるため、細かな調整はみんなで話し合いを行いながら、同じ目標を持ってスモールステップで進めていきたいと思います。</p>
A委員	<p>児童との関わりの中で職員に力不足を感じたときに、施設長から研修を勧めることができる体制は大事であると考えておりますが、施設長から当該職員に対して受講した方がよい研修を勧めたことがあるか、ない場合は今後、チームワークを大事にしながら、そのように研修を勧めることができるか教えてください。</p>
事業者B（施設長候補者）	<p>研修は全指導員に対して行っています。区から来た研修の案内は全員が目を通せるように回覧をしています。人事評価の面談を通して、スキルアップ研修を個別に紹介して、実際に参加してもらったこともあります。</p>
事業者B	<p>補足ですが、研修も本社が一方向的に決める形の研修ではなく、毎年施設長と相談し合いながら、どのような研修が必要かをブラッシュアップしています。研修は、施設長に対する研修や、2番手、3番手を担う職員を対象にした研修といった形で分けているため、できるだけ様々な職員に研修を受講する幅を広げるようにしています。</p>
A委員	<p>幼稚園と保育園との児童についての情報共有について、具体的な内容を教えてください。</p>
事業者B	<p>既存施設では子供の個人面談の際に気になるお子さんや、配慮が必要なお子さん</p>

	<p>に関しては、直接幼稚園や保育園に問い合わせを行って相談と共有を行います。</p>
C委員	<p>施設長候補者に伺います。放課 G0→クラブを運営する上で、スタッフの育成は施設長の大事な役割のひとつであると思いますが、職員育成に関して、施設長としての基本的なスタンスを教えてください。例えば能力が少し欠ける職員、この点を伸ばしてほしいなど感じる職員がいた場合、どのようにアプローチしますか。</p>
事業者B（施設長候補者）	<p>研修の参加してもらったり、研修後に、全職員に対して実際に研修を受けた指導員がフィードバックを行っています。日々、苦手なところがある場合は、みんなでフォローを行います。</p>
C委員	<p>研修を受けてもらうために、職員に対してどのようなアプローチを行いますか。</p>
事業者B（施設長候補者）	<p>年に数回、定期的に面談を行っています。職員からきちんと話を聞き取りながら、前向きに、こちらから「こうなっていったらいいよね」というところを具体的に伝えながら、一方的に言うのではなく、一緒に頑張っていこうということを伝えます。</p>
事業者B	<p>男性職員、女性職員、年代も幅広いため、施設長に話が伝わらない場合もあります。常勤職員も何名かおられますので、その職員に合った対応をさせていただきます。施設長以外の職員から話が挙がりましたら、必ずその話を施設長に挙げ、話をみんなと共有して、どうしていくか対応を考えます。</p>
C委員	<p>施設長と副責任者の役割分担を教えてください。</p>
事業者B	<p>施設長は施設の管理・運営を全般的に行っていますが、副責任者は施設長が休みの際に同等の施設対応ができるように職員配置をしています。育成面では施設長と共に職員の育成指導をすることは大切なため、副施設長という立場の下で、業務をサポートできる体制を本社も研修等を行い、育成を図ります。</p>
B委員	<p>施設長候補者を選んだ、最も決め手となった理由を教えてください。</p>
事業者B	<p>一人一人を大事にする職員です。職員だけではなく、子供と保護者に大事に寄り添う職員であり、弊社に勤めて13年になります。</p>
委員長	<p>時間になりましたので、質疑を終了します。ありがとうございました。</p>
	<p>3 第二次審査結果及び事業候補者の選定について</p>
委員長	<p>事務局から集計結果について説明をお願いします。</p>

事務局	<p>事業者A、第一次審査 910 点、第二次審査 428 点、合計 1338 点です。 事業者B、第一次審査 850 点、第二次審査 388 点、合計 1238 点です。</p>
委員長	<p>各委員から講評をお願いします。</p>
D委員	<p>事業者Aの方を高く評価させていただきました。事業者Aの施設長候補者は、リーダーシップの点が謙虚すぎて、施設長候補者としては少し足りないと感じました。しかし管理的に子供に接するよりもコミュニケーションや輪を大切にする人物の印象を持ちました。また正直な意見で誠実さを感じました。ただ、性的マイノリティへの配慮はもっと深い理解が必要な部分がありました。本部のバックアップは安定性があり、この事業者に決定したら、施設長の教育に力を入れて取り組んでいただきたいと思います。事業者Bの施設長候補者は、副施設長と施設長に抜擢されて現在まで続けていることは人物的に大きな問題はないのかもしれませんが、本日の応対を聞く限り回答は内容的に浅く、不足している部分があり、それぞれの質問についても何を重視しているのか、施設長として考えや、事業に対する思いと熱意が伝わりませんでした。また本部のバックアップにより、施設長としてどのように職員を育成しているのかが気になりました。</p>
B委員	<p>管理運営の評価項目ですが、事業者Aの施設長候補者は、話し方等を含めて不安に思いました。特に高学年の子供達と接する際に難しい部分があるのではないかと感じました。安全対策について事業者Aは8点にしましたが、質疑応答の中で、見送り対応の説明が不十分であったため、マイナスにしました。事業者Bは、見送りについて説明ができていたため、10点を付けて差を付けました。</p>
F委員	<p>事業者Aと事業者B共に、施設長候補者に不安を感じます。保護者対応がきちんとできるのか不安感を持ちました。ただ事業者Bに関しては、安全管理に対する考えがしっかりしていた点は良いと思いました。以上の理由から、二次審査に関しては事業者Bの方を高く評価いたしました。</p>
E委員	<p>事業者Aは学校や地域のことをよく研究しており、全体的に意欲的な提案になっていると感じました。また、これまで見なかった事業者の姿勢であると感じました。施設長候補者は不安な点がありますが、本部の支援体制について厚くサポートする姿勢が見えたため、施設長候補者についても期待をしたいと思います。事業者Bは質疑がスムーズではない場面があり、本部のフォローが必要だと感じました。ただプレゼンの場面でも、本部の支援が働いていないと感じました。また、地域支援に関する理解が不足していました。</p>
C委員	<p>事業者Aと事業者B共に施設長候補者は心許ないと感じました。ただ、事業者Aはあえて彼女を施設長候補者として選出した理由が、子供に寄り添い必ず結果を持ってくるという人選として明確な考え方がありました。心許なくても期待がで</p>

A委員	<p>きると思いました。一方で事業者Bの施設長候補者は、本部が書いたメモを読んで答えていました。また、港南小学校の中にある施設や港南地域の施設についての説明が弱かったと思います。事業者Bは、もしかしたら他の地域の学童でも同じ説明と提案を行っているのではないかと感じました。</p> <p>第一次審査を経て、第二次審査ということで、施設長候補者の人柄や経歴に焦点が絞られていくと思いますが、事業者Aの施設長候補者は、施設長の経験はありませんが、色々と話してくれて、これまでの経験を語っていました。ただ施設長としての経歴が生かされる場面も多いと考えると不安はあります。事業者Bの施設長候補者は、緊張しているのは分かりますが、質問に答えられない場面がありました。質疑応答時にメモを一切取っていませんでしたが、子供たち、保護者、職員との関わりの中で、様々な情報を整理しながら判断していかななくてはならないことも多々あるかと思います。本部のメモを見て答えていた場面もあり、そういった面では、やはり事業者Aの施設長候補者の方が話せていたと思います。その他の点においては、事業者A、事業者B共に同等の評価といたしました。</p>
委員長	<p>各委員の講評を受けて、点数の修正や意見はありますか。</p> <p>(意見なし)</p>
委員長	<p>事業者Aを運営事業候補者として選定することとしますが、よろしいですか。</p> <p>(異議なし)</p>
委員長	<p>事業者Aを運営事業候補者として選定します。事務局から事業者名の発表をお願いします。</p>
事務局	<p>事業者Aは株式会社日本保育サービスです。</p>
委員長	<p>それでは、委員の総意として、株式会社日本保育サービスを運営事業候補者に選定します。</p>
	<p>4 その他</p>
	<p>5 閉会 (閉会の挨拶)</p>